

今日は

あえてスクール形式

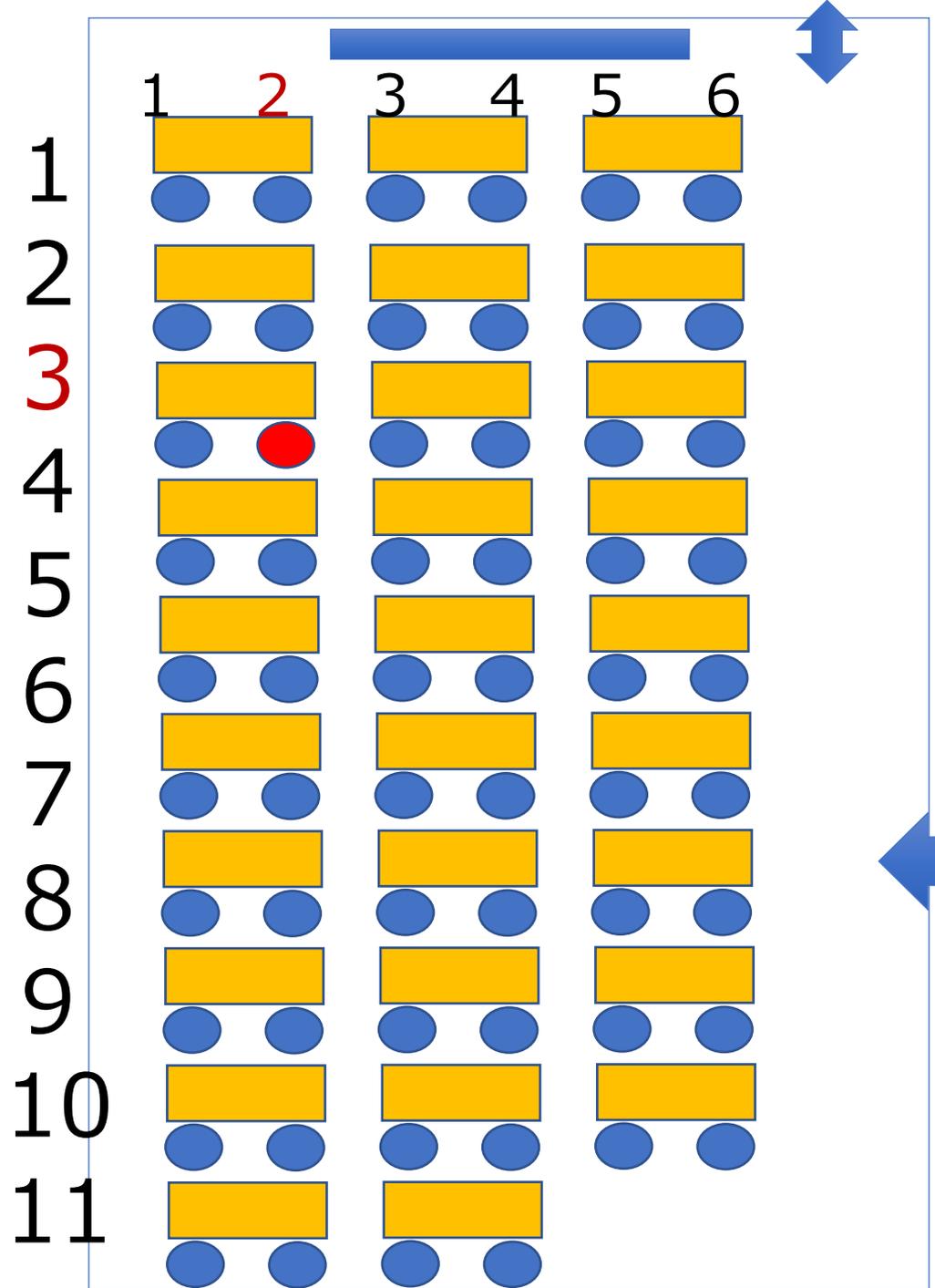
くじ

前から何列目、左から
何番目

例 3-2

前から3列目、左から2つ目

11列 × 6人 - 2人 = 62人



LAH.H107

コミュニケーション論B

3Q月・木1/2限 (8:50-10:30)

第7回：ファシスキル1「場づくり」

2022.10.27

リベラルアーツ研究教育院(ILA) 教授

中野民夫

tamio.nakano@me.com

特別参加：**高尾隆**先生 前回ありがとうございました。

ティーチングアシスタント (TA) : 柳川総太郎

授業計画前半

詳細は様子を見ながら検討

1. 10/3 オリエン、グループワーク体験
2. 10/6 WS入門：聴くことと話すこと
*10/10休み
3. 10/13 相互インタビュー
4. 10/17 ワールドカフェ：全員参加の対話
5. 10/20 ファシリテーション(F)入門
6. **10/24 高尾先生特別授業：インプロ**
中野は急性胆嚢炎で入院。高尾先生ありがとうございました。
7. **10/27 F基礎スキル①：場づくり**
*10/31、11/3休み

授業計画後半

詳細は様子を見ながら検討

8. 11/7 Fスキル②：グループサイズ、問い
9. 11/10 自分が創りファシリテートしたい場
10. 11/14 ファシリテーター実習に向けて準備
11. 11/17 ファシリテーター実習①
12. 11/21 ファシリテーター実習②
13. 11/24 ファシリテーター実習③
- 14/ 11/28 全体ふりかえり：最終レポートを元に

今日の流れ

8:50-10:30

- 8:50 オリエン、
- 9:00 ファシリテーション基礎スキル①場づくり、の説明
- 9:15 場づくり実習
 - 学生にとってやる気が出る場の形を探究して！
- 10:15 ふりかえり
- 10:25 フィードバックシート

フィードバックシートから

- 今日は色々なタイプの活動に取り組んでとにかく楽しかった。ファシリテーターが普段どのようなことを考えているのか、裏話のようなことを聞いて興味が湧いた。
- ファシリテーターとしての場の取り仕切り方について先生の実体験を元に様々(質問の出させ方や話の聞き方、テンションについてなど)聞いて興味深かった。
- 今回は何度もグループが変わっていったけど、いつもみたいに自己紹介がないから仲良くなりにくいかと思ったら、いろいろな活動するなかで仲間意識のようなものが芽生えて意外と話しやすくて驚いた。一緒に簡単な活動をするだけなのに仲間意識が芽生えるのがおもしろかった。
- 普段、椅子を使ってるためグループの境目がはっきり分かったが今回は境目が分からなかったため、普段より気楽に話せた。テーマによっては椅子や机がない方が良いと学んだ。また、グループワークでは体を使う方が仲良くなりやすいと学んだ。 **などなど**

チェックイン

- 前回の高尾先生のワークで印象に残ってることは？
 - 小グループでふりかえり・わかちあい（シェア）
- 進め方
 - 司会進行役（ファシリテーター）を決める
 - やってみたい人、むしろ苦手な人、〇〇の人、じゃんけん？
 - その人がチェックインの場をホールドし進行
 - 場を開く：にこやかに挨拶
 - お題：何について話すか
 - 誰から話すか決める、
 - 何分くらいで話すか目処を示す
 - 皆が話せるようにタイムキープ

ファシリテーション 入門

—参加者からファシリテーターへ

楽しく主体的に参加する人
(参加者)



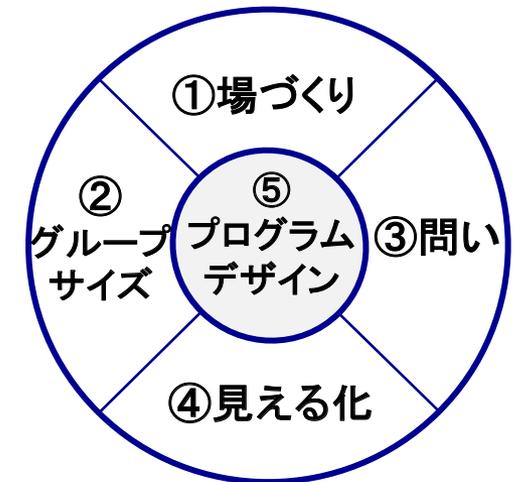
楽しく主体的に参加できる場を作る人
(ファシリテーター)

資料T 2SCHOLAへアップ

「参加型の場を創るファシリテーション:学び合いの現場 から」

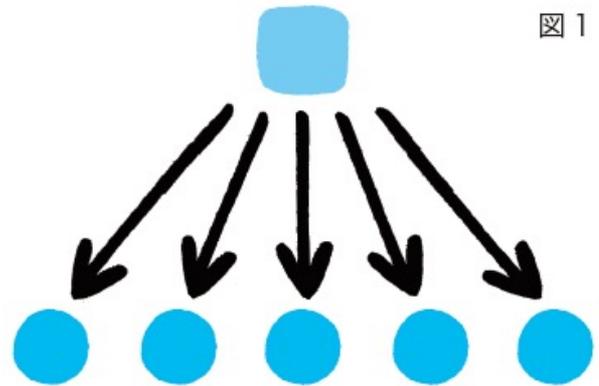
- 計測と制御 第60巻 第6号 2021年6月号
 - 東工大の三宅義博先生が「コミュニケーションの場」に関する特集の担当をされた縁で執筆。
 - 1. ワークショップとファシリテーション
 - 2. 参加型授業の実際:東工大立志プロジェクト
 - 3. ファシリテーションの基礎スキル
 - **3.1 場づくり**
 - 3.2 グループサイズ
 - 3.3 問い
 - 3.4 見える化(可視化)
 - 3.5 プログラムデザイン
 - 4. 持続可能な社会へのファシリテーション

ファシリテーション基礎スキル

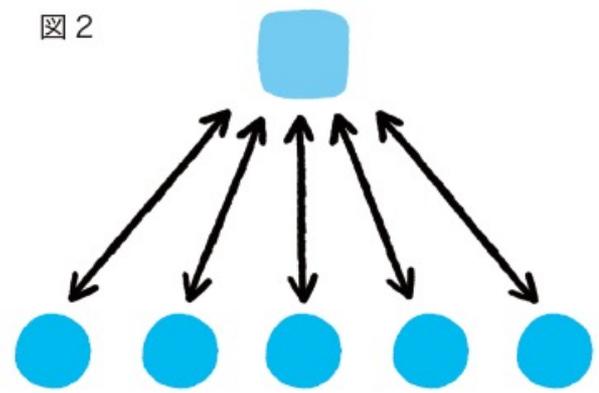


要は上下でなく、横の相互作用を育みたい

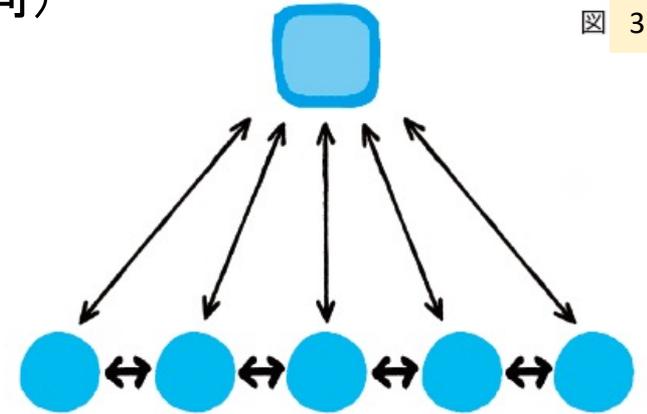
1. 上意下達(従来型の教育)



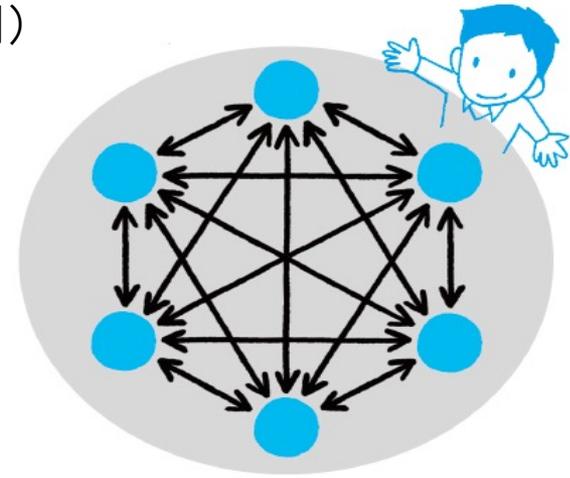
2. 質疑応答(縦の双方向)



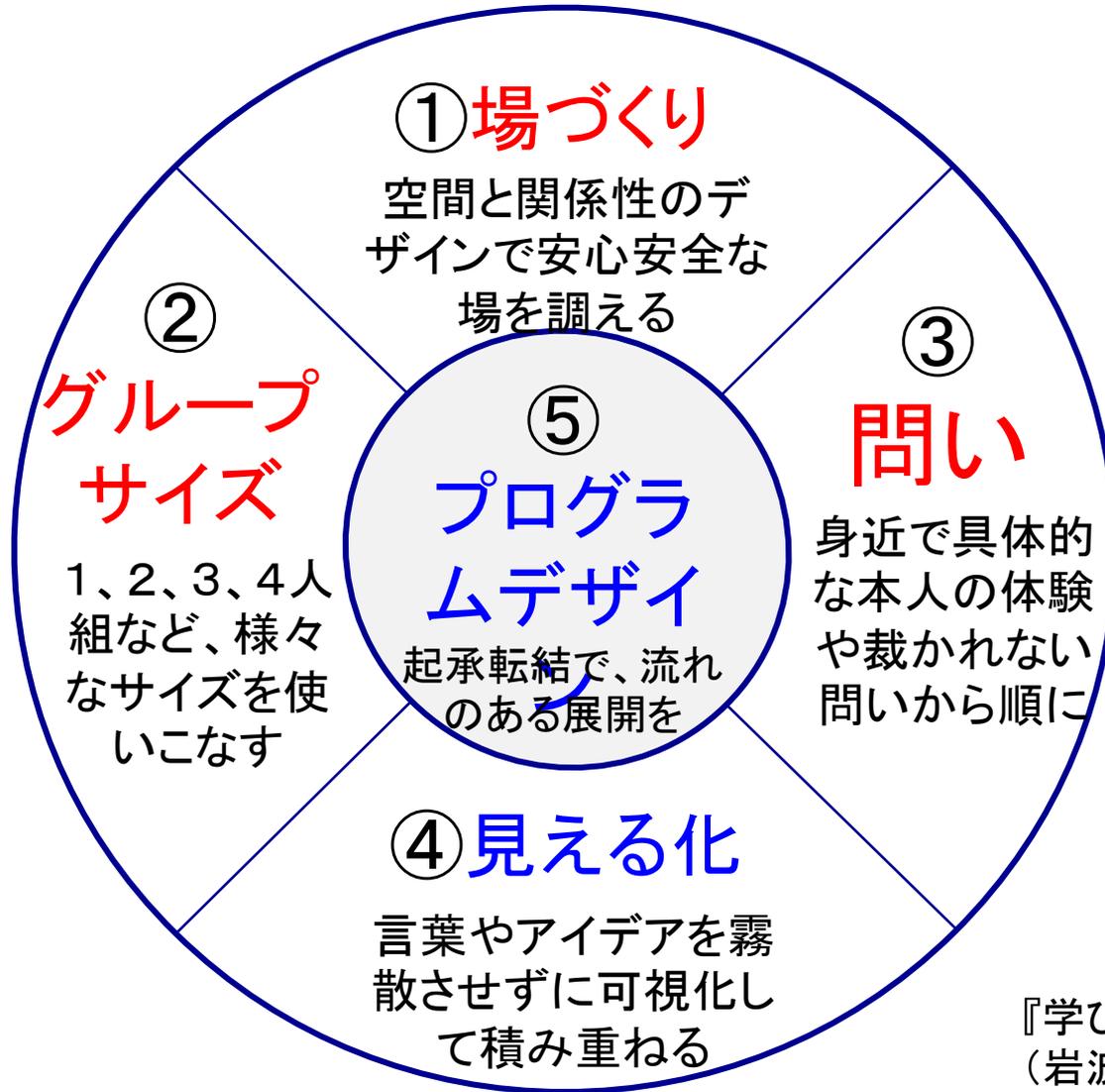
3. 小グループ対話(横の双方向)



4. ワークショップ(マルチの相互作用)



学び合う場をつくる ファシリテーション5つの基礎スキル



『学びあう場のつくり方』
(岩波書店)より

1の技：場づくり

空間のデザイン＋関係性のデザイン

- 「場」って何？
 - Space? Place? Field?
- 場＝空間（物理的）＋関係性（心理的）
 - 人（生物）は同じ空間にいて、影響しあっている。
- 「空間」の物理的デザイン→時には、オンラインの使い方
 - 場所の選択、机やイスの並べ方→zoomの使い方等
- 「関係性」の心理的デザイン
 - 人と人の関係が雰囲気をつくる。どう導入して行くか。
- さらに「時間」の影響も大
 - 常に限りある。ゆったり、だけどしっかりタイムキープ

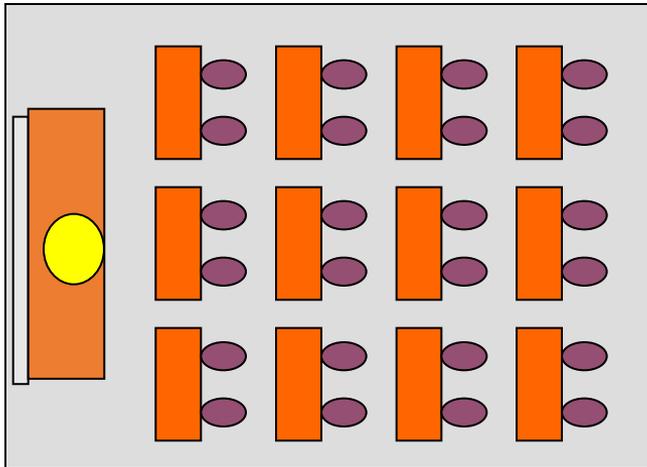
1-1 空間のデザイン

- 椅子や机の並べ方によって、同じ人が同じ場所においても、こんなに感じ方が違う。
 - やってみよう！体感してみよう！
 - 問い：学生がやる気になるのはどの形？で比較を
- フラット：椅子も机もなし（前回）
- スクール形式
- 劇場形式
- □の字
- アイランド：机2つ、机4つ、菱形
- 椅子のみサークル

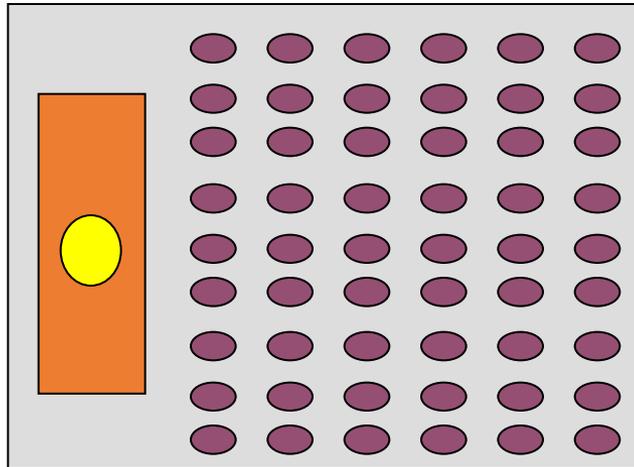
【椅子と机の様々なレイアウト】

それぞれの特長を熟知し、場面に応じてくりだそう！

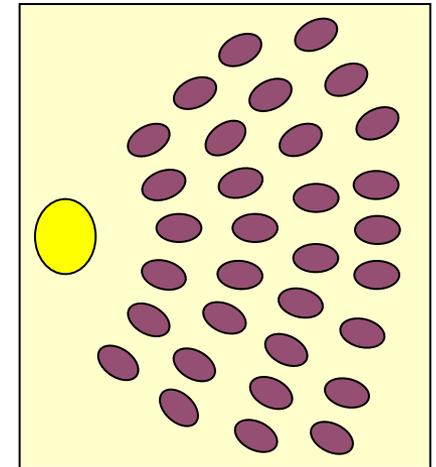
【スクール型】



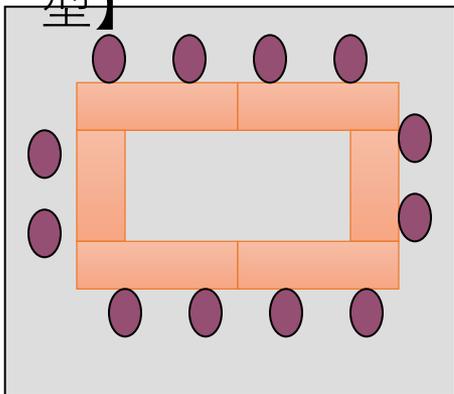
【劇場型】



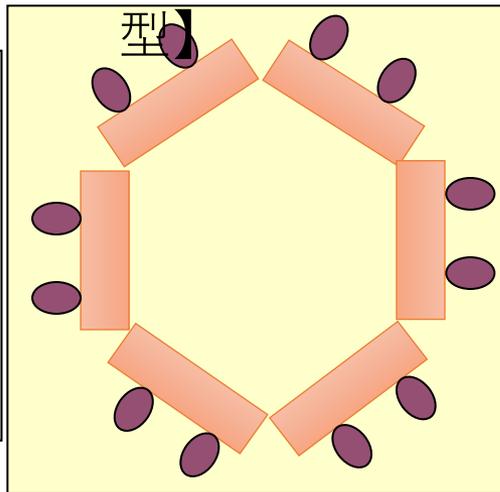
【扇型】



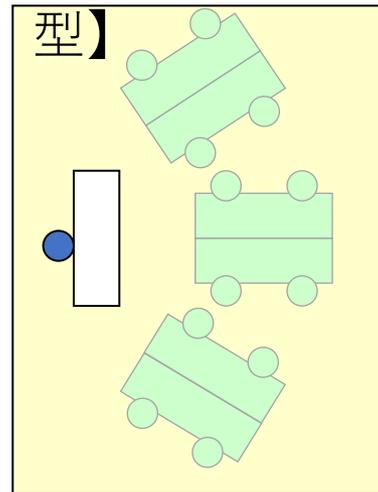
【長方形型】



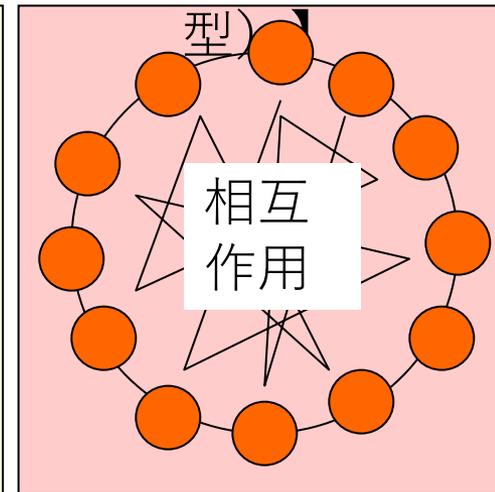
【多角形型】



【アイランド型】



◎【輪（サークル型）】



1 : 場づくり

1-1.空間のデザイン

- 人が集う「カタチ」に敏感になろう
 - 用意された部屋に合わせることに慣れすぎ！ゼロベースで
- イスや机の並べ方だけでなくいぶん違う
 - 机イスの有無、長方形、菱形、中を埋める、半円形
- 今、必要な形は何か、常に考え、提案しよう
 - 居心地よく、相互作用の生まれやすい形は何？
 - アウトプット（成果）重視のビジネス系vs相互理解（気持ち）重視のハート系、をバランス良く

1.場づくり

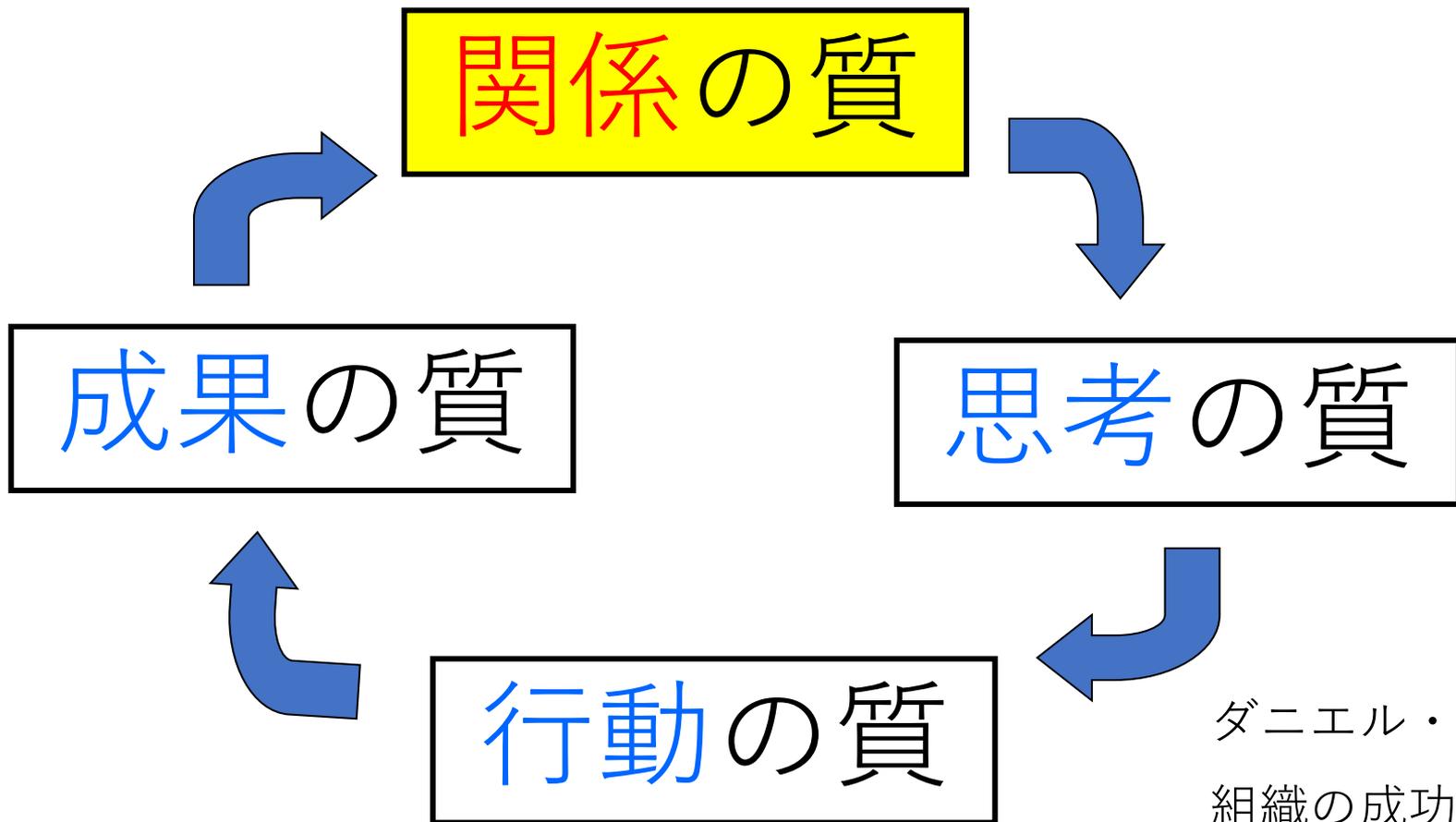
1-2: 関係性のデザイン

- 人が集う「場」= 空間(物理的) + 関係性(心理的)
- 「関係性」の心理的デザイン
 - 知らない人同士は、初めは緊張して当然。
 - 急に近くの数人で話して！と言われても。
- オリエンテーション + 導入ワーク(アイスブレイク)で、受け入れる準備を少しずつ調える。
 - 何人で？も重要→2. グループサイズ

オリエンテーション：方向づけ

- 最初に「土俵」をつくる
 - ここは何する所？どこへ行こうとしてる？ルールは？
- オリエンテーションのOARR by David Sibbet
 - **O**utcome : 成果、どこまで行こうとしているか。ゴール。
 - **A**genda : プログラムの流れ。大まかなスケジュール。
 - **R**ole : そこにいるすべての人の役割
 - **R**ule : 共有すべきグラドルール、参加の心得
 - 『ファシ・革命』 p.69-70、 『ファシ・実践』 p.128

「成果」を急ぐより、急がば回れ
「関係の質」を上げる



ダニエル・キム
組織の成功循環
モデル

「場づくり」の基本<まとめ>

1. **空間**の物理的デザイン：
机やイスの並べ方

2. **関係性**の心理的デザイン

2-①オリエン
テーション

(どこへ行くの?を明確に)

OARR

2-②導入ワーク
(アイスブレイク)

(ほっと安心できるように)

チェックイン

ベースにあるのは、「おもてなし」の心 Art of Hosting!

ふりかえり

googleフォーム:イードバックシート記入 授業をふりかえって、気づき・発見、学び・提案 今日中に(出席確認兼ねる)

- 今日はGoogleフォームで。
- <https://docs.google.com/forms/d/13eRhisweIv9uIfPCvml8yihTQ2eWSS-V7aDWkHdd6Zw/edit>

＜注意！＞

- 万一、授業にフル参加してなかったのに、書いて提出するのは不正行為。
- 東工大ルールで当Qの全ての授業の単位が取り消されますので注意して。

A screenshot of a Google Form titled "22コミュニケーション論Bフィードバックシート". The form includes a subtitle "今日の気づき・発見、学びを書いてください". It features three text input fields: "学籍番号" (Student ID), "氏名" (Name), and "気づき・発見、学び" (Insights, Discoveries, Learning). The "気づき・発見、学び" field is highlighted with a blue border. At the bottom, there are icons for "保存" (Save), "印刷" (Print), and "必須" (Required), along with a toggle switch for "必須" (Required).